

研修旅行報告

第三十回東風会研修旅行

福利厚生部担当 島村 和広



今年は記念すべき三十回目の研修旅行となりました。研修先は栃木県の有名な観光地、世界遺産「日光東照宮」と巨大地下博物館「大谷資料館」です。

九月二十六日、午前八時、上里町男女共同参画推進センターから全員が乗車しました。車中で高澤利藏会長、永尾路子福利厚生部長から挨拶をいただき、研修先に向かいました。

午前十時、最初の見学地である日光山輪王寺に到着しました。今回は、それぞれの見学場所を案内人の説明を受けながら、じっくりと内容の濃い研修をすることにしました。輪王寺では、日光で一番最初に建立された格式の高いお寺という説明を受けました。この後東照宮の鳥居をくぐり、五重塔、表門、三神庫、神厩舎（三猿）を詳しい説明を受けながら見学し、いよいよ陽明門に到着しました。二年前に改修工事が終わったばかりの門は、色鮮やかな彫刻が光り輝いていました。この陽明門を見ただけでも、研修旅行に参加した意義があったと感じました。陽明門の正面にある唐門も、真っ白に塗り直され、素晴らしい彫刻が見事でした。眠り猫を見た後、本地堂の中に入り、鳴き龍の音を聴きました。いつまでも耳に残る反響音でした。充実した二時間程の見学を終え、昼食会場に移動しました。

昼食は豆富と湯葉料理のお店「月山（GASSAN）」です。豆富、湯葉の他に、精進料理風の十種類の料理が出ました。大変おいしくヘルシーな昼食でした。お腹も十分に満たされました。

午後は宇都宮市の大谷町にある、「大谷資料館」を見学しました。大谷石の採掘場跡地を整備した施設です。ここも、案内人をお願いし、詳しくゆっくりと見学しました。大変熱心な案内人で、四十分のところ、一時間も説明をいただきました。地下の採掘場跡は年間を通して気温が十二度ということで、寒さをこらえながら見学しました。地下三十メートル、広さ二万平方メートルの跡地は、会議やコンサートなど様々なイベントに利用されているそうです。到着した時には、修学旅行で訪れた小学生が、地下ステージで「翼をください」の合唱をしていました。心が洗われるような素晴らしい歌声でした。また、様々な映画やテレビ番組で撮影場所に使われたということで、写真が展示してありました。映画「翔んで埼玉」の写真もありました。

午後四時に、帰路に就きました。天候にも恵まれ、参加者全員充実した研修に十分満足したようでした。最後に車中で、中野修一副会長から、まとめの挨拶をいただきました。ゆっくり、じっくり見学したので、時間が少しずつ押していましたが、帰着は予定通り午後五時三十分丁度でした。ご協力ありがとうございました。

（前上里町立賀美小学校長）

